

# 演習・グループワーク形式を 取り入れた研修に係る調査

平成24年3月

自治大学校

# は し が き

現在、超少子高齢社会の到来、経済のグローバル化、環境・エネルギー問題の深刻化、大規模災害等への危機管理対応、地方分権の進展など、地方を取り巻く環境が大きく変化しています。

このような環境の変化に対応するため、これからの地方公務員には、現状を的確に分析し、課題を発見し、課題解決のための提言をまとめ上げ、説得力のあるプレゼンテーションを行い、関係者の合意を形成し、これを実行するという、政策形成過程全般に及ぶ能力の更なる強化が求められています。

政策形成過程全般にわたるスキルを習得するためには、「演習・グループワーク形式を取り入れた研修」が有効であると考えられ、現に本校の研修生による評価も高く、これまでも演習課目の充実を図ってきたところです。

この報告書は主に演習・グループワークの方法論についてアンケート調査を行い、分析することで、各自治体や自治体職員に対する研修機関の演習課目を充実させ、ひいては、地方公務員の政策形成能力の向上に資することを目的としております。

また、今回の調査の中で、ユニークまたは特徴的な演習・グループワークを取り入れた研修について回答があったものの中から、一部を抽出して実地調査を行いましたので、その結果についても掲載しております。

各地方公共団体等におかれましては、この報告書を活用され、より効率的で効果的な研修の実施のために役立てられることを期待します。なお、この報告書は、自治大学校が実施した「演習・グループワーク形式を取り入れた研修」に係る調査の結果を関係者に周知するため、財団法人全国市町村研修財団、市町村職員中央研修所から経費の助成を受け作成されています。

最後になりますが、御多忙中にもかかわらず、調査に御協力いただいた各団体に対し、心から感謝いたします。

平成24年3月

自治大学校長 株 丹 達 也

## 【本報告書の調査・作成担当者】

地方公務員研修研究会（自治大学校教授室内）

自治大学校 参事官	井上 博 士
部長教授	松元 照 仁
教 授	椋田 那津希
教 授	安藤 高 広
研究部員	津田 正 法
特別研修生（熊本県）	森崎 博 行
特別研修生（下関市）	門田 重 雄
特別研修生（三重県）	米津 徹
特別研修生（静岡県）	渥美 和 哉
特別研修生（岐阜県）	上野 博 美

# 目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 アンケート調査の結果	3
1 アンケート調査結果の概要	3
2 演習・グループワーク形式を取り入れた研修アンケート調査の結果	4
(1) 実施状況	4
(2) 個別分析	5
(3) 実施内容等	23
3 総務省自治大学校卒業生向けアンケート調査の結果	26
第3章 実地調査の結果	33
1 調査結果の概要	33
2 札幌市の事例	37
3 山形県の事例	45
4 特別区人事・厚生事務組合特別区職員研修所の事例	51
5 愛知県市町村振興協会の事例	57
6 滋賀県・京都府の事例	65
7 熊本県市町村職員研修協議会の事例	71
8 鹿児島市の事例	79
第4章 おわりに	85
参考資料	
1 演習・グループワーク形式を取り入れた研修アンケートの自由記載の回答一覧	87
(1) 問3 「演習・グループワーク形式を取り入れた研修」の工夫している点やポイント	87
(2) 問4 ユニークまたは特徴的な「演習・グループワーク形式を取り入れた研修」	93
(3) 問6 全国の地方公共団体職員を対象とした研修機関に求める「演習・グループワーク形式を取り入れた研修」	99
2 演習・グループワーク形式を取り入れた研修アンケート調査票(様式)	103
3 総務省自治大学校卒業生向けアンケート調査票(様式)	111
4 調査対象団体一覧	115